

シンポジウム

神戸と難民



1940年夏、ナチス・ドイツを追われて日本にたどり着いたユダヤ難民。敦賀を経て神戸にやってきた4千人を超える難民が1週間から6か月間、北野から六甲にかけての地域に滞在し、神戸の人々と様々な交流もありました。

また、ベトナム戦争終結後、ボートピープルとして日本にやってきたベトナム難民。1979年に日本で最初に開設された姫路定住促進センターでの研修を終えた難民の多くがケミカル産業などに就職するため長田区を中心に神戸に定住しました。今では日本生まれの二世も増え、関西で最大の難民コミュニティを形成しています。

人権週間に併せてシンポジウムを開催し、あらためて神戸と難民の人たちとのつながりについて振り返り、これから私たちが難民の人たちのために何ができるのかを考えます。

パネリスト

岩田 隆義さん(神戸外国人居留地研究会理事)

ハ・ティ・タン・ガさん(神戸定住外国人支援センター職員)

コーディネーター

飛田 雄一さん(NGO 神戸外国人救援ネット代表、神戸学生青年センター館長)

参加費 無料
(事前申込制)

日時 2018年12月1日(土)午後2時~4時

会場 神戸YMCA三宮会館(神戸市中央区加納町2丁目7-11)

参加費 無料

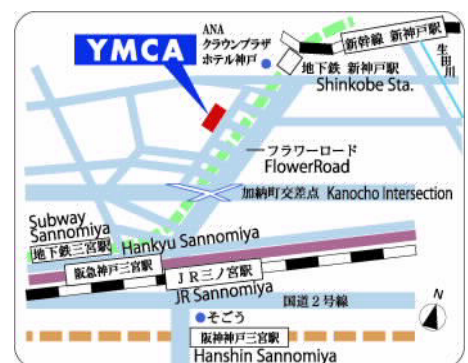
事前申込制 (申込受付期間:11月8~29日)

* 下記のいずれかへお申込ください(お名前・ご連絡先が必要です)

神戸市イベント案内・申込センター 078-333-3372

難民事業本部関西支部 078-361-1700 / kansai@rhq.gr.jp

神戸YMCA国際・奉仕センター 078-241-7204 / houshi@kobeymca.org



主催 神戸市 (公財)神戸YMCA (公財)アジア福祉教育財団難民事業本部